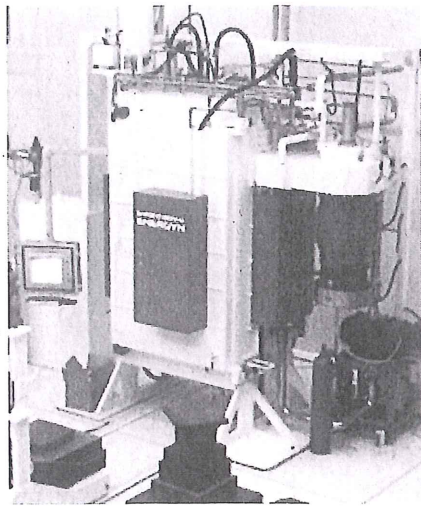


粉体成形機 韓社と提携

エンジン製のホットプレス



【東大阪】三庄インダストリー（大阪府東大阪市、山本努社長、072・966・4613）は、韓国の圧力機器メーカー、エナジン（京畿道）と業務提携を結んだ。5月からエナジン製の冷間等方圧プレス（CIP）やホットプレスなどの販売とメンテナンスを始めて、粉体成形機器のラインアップを強化する。2019年8月期に2億〜3億円の受注を目指す。

三庄インダストリーが拡充

CIP・ホットプレス 3割安、来月国内投入

CIPとホットプレスはともに国内市場は日本の重工系メーカーやプラント機器メーカーが強い分野。エナジン製は日系より約30%安い価格で市場投入できる見通し。三庄は順次、本社工場内にテスト機を設置して試験成形とメンテナンス体制を構築し、市場を開拓する。

三庄のCIPはパスカルの原理を活用して立体形状を成形する湿式の小型機が中心。エナジン製は湿式の中・大型機に加えて乾式CIPの扱いも始める方針。これにより粉体焼結部品の焼結前工程分野などで、複雑形状に向く湿式と、丸棒などシンプル形状を効率的に成形する乾式の両装置を小型から大型までそろえる。

エナジン製のホットプレスは最大で3000度C、加圧能力1000トの設備。三庄のラインアップになかった大型機種で、加圧・焼結を同時に行う需要や異種材料の拡散接合分野を狙う。

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

新聞

4月10日 火曜日

2018年(平成30年)

TODAY

36 深層断面



リニアコライダー

宇宙誕生直後のビッグバンを再現する全長20キロ以上の巨大加速器「国際リニアコライダー」が日本に誕生するかもしれない。政府は年内にも判断。候補地である東北は世界の素粒子研究者が集う科学の一大拠点に。

(ILC/©Rey.Hori)

09 粉体成形機、韓国社と提携
三庄インダストリー

20 油井組 建築工事を合理化